



ニュースリリース

2007年12月5日

パッケージ・シングュレーション装置「PS280」をRokko社へ供給開始

株式会社東京精密（代表取締役社長 & CEO：鈴木貞勝）は新パッケージ・シングュレーション・ダイサ「PS280R」のRokko Holding Ltd.（シンガポール）への供給を開始した。

「PS280R」はRokko社が新規開発した一体型の切断、ピック&プレース・システム「RS8000S」として全自動2ステージ&2トラックパッケージ・シングュレーション装置を顧客に提供する。

この新規開発した装置は、BGAやQFN基板の切断において従来の1ステージ&1トラックと比べてCost of Ownership（COO）を30%以上低減することを可能にする。

東京精密は既にパッケージ・シングュレーション装置「PS280」の販売開始を2007年8月10日に発表している。

東京精密はパッケージ・シングュレーションに関する6件の特許を日本と米国において取得済みで、更に10件以上の特許を米国、シンガポール、韓国、台湾に出願中である。

又、東京精密は「PS280R」の供給に伴いRokko社と特許に関するクロスライセンス契約締結に合意した。

Rokko社（Rokko Holdings Ltd.）について

Rokko社はシンガポール株式市場に上場し、半導体産業と電機業界に対して自動装置と精密エンジニアリングサービスを提供している。同社は、半導体市場向けに独自に開発した半導体アセンブリ装置と精密加工機の設計や製造を行い、電子機器産業で用いられるコネクタ類の精密スタンプも行っている。総従業員数は世界で180名以上である。

同社は、United Test and Assembly Center Ltd, the Texas Instruments グループや Formosa Advanced technologies Co., Ltd. などのような世界的な半導体テスト&アセンブリ企業に自動装置を販売している。また、1994年の設立以降、これまでにパッケージ切断装置に関する多くの特許を持っている。